

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

別紙1

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		集団の訓練室と個別の訓練室があり、状況に応じて使用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		人員配置基準通り職員を配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		室内は、完全バリアフリーで設計されており車椅子や身体不自由のお子様でも安心して移動できる環境になっている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		毎月不定期ではあるが、サービス検討会議や勉強会を行い、意見を出し合い改善に努めている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		保護者さまの意向等を把握し、職員間で話し合い改善に繋げている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		ホームページに公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	外部の評価はできてないが意見を聞き改善に繋げている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		毎月、勉強会を実施している。外部での研修に参加した時は、職員へ報告を行い情報共有している。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		アセスメントや保護者さまとの情報共有を行い、支援計画を作成している。作成後、保護者さまと職員間共有している。
適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		児童用アセスメント評価シートを使用している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>		

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		お子さまの様子を見ながら変化をつけるように工夫している。また、それぞれのストレングスに着目した関わりができるよう環境設定や課題提供を行っている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		集団活動をメインに活動を計画しているが、ひとり一人のお子さまの課題を捉え、個々成長と集団での関わりなど、複合的な配慮をしている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援の内容（1日の流れ）をホワイトボードへ提示している。その内容の詳細や、役割分担はスタッフ間で共有している。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			支援終了後にその日勤務した職員との終礼は行っていない。（多機能型施設で勤務終了後の時間が違うため）申し送りノート等での情報の共有を行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		利用時には毎回記録を記入し、経過を振り返られるようにしている。欠席時や関係者と情報交換を行った際も記録するように努めている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを行い、保護さま・相談員さんに報告（提出）している。計画達成時や変更が必要な際はその都度相談し必要があれば見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者（管理者）が参加するようにしている。必要に応じて保育士や専門スタッフが参加している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		そのお子さまの関係者には、近況報告等を行うようにしている。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			今の所、医療的ケアを必要としている児童はいない。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			今の所、医療ケアを必要としている児童はいない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行の際は情報を提供していただき、法人内の児童発達支援事業所であれば就業前会議を行い情報の共有に努めている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行の際は情報を提供していただき、法人内の児童発達支援事業所であれば就業前会議を行い情報の共有に努めている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		他の専門機関とは、その児童に関する情報の共有を行ったり必要に応じて連絡をとりあっている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		保育所や認定こども園、幼稚園との交流や障がいのない子どもと活動する機会を希望される保護者も少なく、実施していない。今後、希望者も増えてきたら検討したいと思っている。

	⑳	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳や送迎の際に、こちら側が気になることは尋ねようとしている。成長や頑張ったことはその都度保護者さまに伝えている。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		日頃から発達や成長気づきを伝えるようにし、喜びを共感できるようにしている。必要に応じて保護者さまとお子さまのより良いやりとり(対応)を提案し、保護者さまが親である自信につながる様にサポートを行っている。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		重要事項説明書を使用し説明同意を頂いている。変更が生じればその都度説明している。
	㉔	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		
	㉕	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		悩みや困ったことを、解決できるような支援につなげられるよう、ネットワークをもち、紹介やアドバイスをやる様努めている。
	㉖	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会や保護者さま向け勉強会は必要と考えるが、コロナウイルス感染予防の観点から、開催できていない。父母の会の活動や、保護者さま向けの講習会資料等の配布を依頼された際は、都度お配りしている。
	㉗	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	㉘	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		不定期ではあるが、日々のお子さまの様子をラインで送信している。初めて出来るようになった事などは、その時に送るなど、保護者さまと喜びを共有できるよう努めている。
	㉙	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		写真などの取り扱いに、特に気をつけており、保護者さまに同意を得ておたよりなどに使用している。
	㉚	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		みなさまに理解していただけるように、分かりやすい文書でまとめイラスト等を使用している。
	㉛	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		毎年、地域の方に夏祭りのご案内は行っている。今年は、コロナウイルス感染防止の観点から実施していない。
	非常時等の対応	㉜	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	
㉝		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に2回避難訓練と救出訓練を実施する予定となっている。目黒教室は、去年の11月からの間所で、6月に行う予定はあったが、コロナウイルス感染予防の観点から延期。今後、状況を見ながら避難訓練を行う予定としている。
㉞		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アセスメントの際に食物アレルギーの確認を行い食事内容に十分注意している。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット、事故トラブルなど、状況を記録し、検証する体制を整えており、再発防止に向けて取り組めるようにしている。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待を防止に向けての取り組みの研修会を定期的に行っている。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		現在、やむを得ず身体拘束に至った事例はない。今後、危険回避行動と虐待と違いを明確にし、適切な対応をするように支援計画へ明記を検討している。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。